

株式会社香源

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2025年11月28日



大垣共立銀行とOKB総研は、株式会社香源（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	1
(1) 株式会社香源の企業概要.....	1
(2) 株式会社香源の事業概要.....	3
(3) 経営理念	7
(4) サステナビリティ.....	8
2. インパクトの特定	10
(1) バリューチェーン分析.....	10
(2) インパクトマッピング	10
(3) インパクトレーダーによるマッピング	11
(4) 特定したインパクト.....	13
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認	15
3. インパクトの評価	17
4. モニタリング.....	20
(1) 株式会社香源におけるインパクトの管理体制	20
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング	20

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) 株式会社香源の企業概要

企業名	株式会社香源
創業	1937 年 4 月
設立	1991 年 12 月 6 日
代表者名	代表取締役 菊谷 勝彦
資本金	1,000 万円
従業員	25 人 (2025 年 9 月時点)
事業拠点	本社・名古屋本店 愛知県名古屋市中村区大秋町 4-47 銀座本店 東京都中央区銀座四丁目 14-15 上野店 東京都台東区上野桜木一丁目 10-16 京都 烏丸五条店 京都府京都市下京区花屋町通新町西入東若松町 830
事業内容	お香・お線香・香木・数珠などの薫香類販売



名古屋本店



銀座本店

＜沿革＞

1937 年	お香・線香問屋として、菊谷生進堂を創業
1947 年	全国複数の線香メーカー代理店に認定
1953 年	「美芳香炭」発売
1991 年 12 月	法人改組、株式会社菊谷生進堂 設立
1999 年	インターネット通販店「香源」オープン
2001 年	店舗でのお香体験を開始
2010 年	新社屋オープン お数珠コーナー増設
2014 年 8 月	銀座四丁目に「香源 銀座本店」オープン
2016 年 6 月	名古屋本店 店舗新築
2018 年 6 月	東京 上野桜木（谷根千エリア）に「香源 上野店」オープン
2019 年 8 月	一般社団法人お香リカレント学院 設立
2021 年 4 月	SDG s 宣言実施
2025 年 1 月	現社名へ変更
2025 年 5 月	京都に「香源 京都 烏丸五条店」オープン



上野店



京都 烏丸五条店

(2) 株式会社香源の事業概要

【事業内容】

同社は、お香の販売を中心に事業を展開している。

① 小売事業

名古屋、東京、京都にて直営店を4店舗運営、各店舗では「お香コンシェルジュ」と称したお香の専門家によるサポートを提供している。また、自社サイトやモール出店などオンラインでの販売も行っている。お香の専門店として全国の多種多様な商品を取り扱う他、「香源」のブランド名にて、美芳香炭、美芳香炉灰、レゾナンス、日本の香りシリーズなど、様々なオリジナル商品を展開している。



お香



線香



アロマグッズ



香炉・香立て

〈オリジナル開発商品〉



美芳香炭
(お焼香用の炭 全国シェア No.1)



résonance (レゾナンス)
(お酒とのマリアージュを楽しむお香)

② 卸事業

お香の専門店として長年の実績があり、数多くのメーカーと取引がある。各種ブランド商品卸売の他、オーダーメイドにて OEM 制作も取り扱っている。オリジナルの香りのお香を作ることができる他、歌手やキャラクターをイメージした香りのお香といったメディアとのコラボ商品開発など数多くの実績がある。



OEM 制作時のサンプル用お香



OEM 例：「BE:FIRST」ライブグッズ制作

③ 教育事業

お香の作り方（調合）、お香の歴史や世界の香り文化を学ぶことのできるオリジナルテキストを使用したお香講座『香座』・教室『香房』を、直営店舗や大学・文化センター等、各所で開催している。また、一般社団法人お香リカレント学院を運営し、お香文化を広げ発信するお香の先生『香師』の育成を行っている。



オリジナルテキスト



学院教材一式

④ 香木買取事業

長い歳月を経て生まれる希少な天然の香木を大切にすべく、不要になった方から買取を行い、同社の販売ルートを活用して流通させる。2012 年より、古物商の免許を取得し、専門家による鑑定のもと、買取事業を展開している。



香木「伽羅（きやら）」



香木「沈香（じんこう）」

⑤ 数珠再生事業

先祖代々継いできた数珠を、長く使えるように修理を行う。職人の技術により、単に修理するのみならず、玉や房の変更や、プレスレットやネックレスを仕立て直して数珠にするなど、新たに生まれ変わらせることができる。また、使わなくなり処分に困った数珠を無料で預かり、大阪 四天王寺にて定期的に供養を行っている。



数珠修繕の例

【同社の強み】

- ・ 創業以来 80 年超の長年の間、お香の専門店として積み上げてきた歴史があり、当地区では随一の実在である。同社は趣味用に香りを楽しむものとしてお香を販売し始めたパイオニア企業の一つであり、「お香」という言葉を作ったのは同社である。
- ・ お香・線香メーカーとの関係を大切にしつつ、店舗における販売により最終顧客との接点も多く需要が把握しやすい状況にあることから、需要に合った商品企画と迅速な製造体制整備を実現しており、大きな強みとなっている。このように商流全体をつかむことができているのは、当業界では極めて希少であり、確固たる地位を確立している。そのため、同業他社に比べてオリジナル商品開発に優れており、顧客需要を的確につかんで行くことができている他、後述のように OEM 事業の展開が拡大している。
- ・ 東京に好立地店舗を 2 店舗展開しており、同店舗はメディア露出も多く、業界における知名度は高い。
- ・ 同社社長は各大学の非常勤講師として講義を行っている他、各店舗ではお香教室イベントを定期的開催（年間 1,000 組程度の参加者）している等、お香文化の振興にも強く力を入れており、市場の拡大にも寄与している。加えて、近年設立した「お香リカレント学院」では、お香のスペシャリスト育成に注力している。こうした専門家の育成を同社が行うことで、業界内での人脈が拡大し、同社の更なる発展に寄与することが見込まれる。
- ・ 展開する商品は高い専門性を有することから、現在 OEM 受注が好調である。様々なイベントや企画にオリジナルのお香を提供しており、商品の人気も高く、同社の知名度向上にも寄与している。近年は、アニメやゲームなどのキャラクターとのコラボレーション商品が好評を得ており、名古屋地域の観光イベントにも継続的に参画している。また、OEM 事業は、後継者問題を抱えがちな線香業界企業の事業存続に資する取組も行っており、業界への貢献度も高い。

【今後の展開】

- ・ 今年、京都店を新たに開店。運営の質を担保するため急速な店舗拡大は想定していないが、無理のない範囲で徐々に新たな店舗展開も構想している。
- ・ 現在は規模が小さいが、海外向けの展開を加速させていく。例えばインバウンド顧客が日本で同社商品を買いたい、その後自国からも購入したいなどの需要に応じていくべく、EC サイトを強化していく。また、「OKOH」としてブランド戦略を推進し、新たな日本文化の需要を高め、海外向け B to B の展開も拡大していく見込み。

(3) 経営理念

同社は以下の理念を掲げて、事業活動に取り組んでいる。

【経営理念】

普段を優雅に

—我々は香りを通じて、普段という日常の暮らしに優雅という非日常を体験・提案することを使命とします。—

【活動方針】

香り文化を世界へ

また同社は、香り文化によって、人々の毎日が未来に向かって優雅なものになるよう活動すべく、以下の 3 つのコアバリューを重視した取り組みを進めている。

つながり 過去から今へ続く大切な人・ものを思う心

私たちは、売り手、買い手、世間（地域）、作り手、地球、未来の六方よしの精神で、すべての人々の幸せを追求します。

いやし 心やすらぎ、きれいになるとき

私たちは、香り文化の持つ素晴らしさを活用し、優雅な癒しの空間と時間を提案します。

あそび 心ときめく、日本らしさへの憧れ

香り文化が持つ、作る楽しみ、学ぶ楽しみ、伝える楽しみを通じて、人々が活躍できる社会を目指します。

その他、以下のような行動指針を定めている。

1. 私たちは、人を大切にする力を養います。

私たちは、社内外を問わず、それぞれの価値観を尊重しながら日々活動します。

2. 私たちは、読む力を養います。

世界情勢、お客様のニーズ、業界や他業種の情報、最新の IT に対するリテラシー取得など実務に必要な情報を収集します。

3. 私たちは、問う力を養います。

変革に挑み続けるため、自分が今やっている仕事の意味、なぜ今世の中に必要とされているかを、常に自分に問いかけます。

4. 私たちは、つなぐ力を養います。

社内外をつなぐプロジェクトに対応するためにネットワークを大切にしながら日々つなぐ力を養います

5. 私たちは、提案する力を養います。

私たちは、非日常ではなく、日常（毎日、日々）を優雅にする提案をしていきます。

(4) サステナビリティ

同社は SDG s 宣言を定め、これを指針として課題に取り組んでいる。

「SDG s 宣言」

商品・サービス

“日本のお香の情報発信源”となるべく、昭和 12 年の創業以来培った信頼と専門的知識を活かし、お香文化を世界に発信することで、持続可能で心豊かな社会の実現に貢献してまいります。

環境

事業活動を通して CO₂削減に取り組むことで脱炭素社会の実現に貢献するとともに、商品のリユースに取り組むことで地域のリード企業としてお客様とともに地球環境の保全に努めてまいります。

人権・働きがい

従業員が健康でやりがいをもって働けるよう、職場環境の構築に取り組み続けるとともに、会社を取り巻く全ての人の幸せを追求してまいります。

地域貢献・社会貢献

「お香文化は未来の子どもたちへの贈り物～日本の伝統文化を世界へ～」を胸に、香り文化・日本文化の保存とさらなる発展に寄与すべく、地域社会と連携しながら次世代人材の育成や社会貢献活動に取り組んでまいります。

それぞれの重点項目(マテリアリティ)において、具体的には以下のような取り組みを行っている。

① 商品・サービス

- ・ 小ロットから多品種まで展開できるお香商品の販売
- ・ BCP の策定と訓練の実施により、災害発生時にも円滑に商品を届ける体制を構築し、お客様にとってより安心・安全・便利な商品を提供
- ・ 「お香コンシェルジュ」として専門知識を活用した対話と丁寧なサービスの提供



② 環境

- ・ CO₂排出量の把握と LED 照明への切り替えや再生可能エネルギーの活用等による CO₂削減への取り組み促進
- ・ 数珠の修理・メンテナンス事業による長期利用の促進
- ・ 香木の回収・再活用事業の促進



③ 人権・働きがい

- ・ 研修カリキュラムの策定・お香に関する動画配信等人材育成の実施
- ・ リフレッシュ休暇等の有給休暇取得促進によるワークライフバランスの推進
- ・ 退職金制度等福利厚生拡充による従業員の働きやすさ向上
- ・ 障がい者就労支援事業所への業務委託（計量・袋詰めなど）



④ 地域貢献・社会貢献

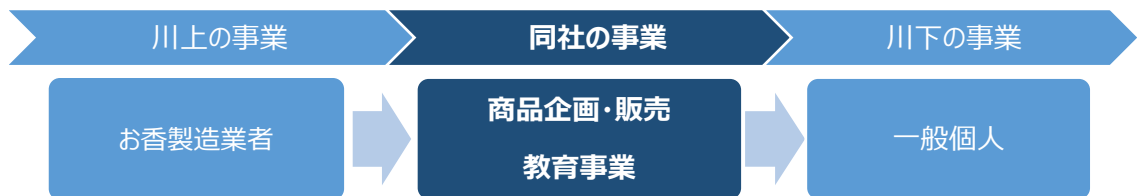
- ・ 「お香リカレント学院」の運営によりお香に関する高等師範を育成して社会進出・独立支援を推進するとともに、伝統文化の次世代への継承を促進
- ・ 地域大学と連携した共同研究の推進
- ・ 地域の小学生に向けて職場体験を継続的に実施
- ・ 文化振興のための落語会の開催および地域住民の招待



2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同社は、名古屋、銀座、上野、京都に4店舗、および EC サイトを通じて、お香・香木・線香・数珠等の販売を行っている。お香の専門店として長年の実績があり、数多くのメーカーと取引があるため、OEM 制作やオリジナルのお香の制作、歌手やキャラクターをイメージしたお香などのコラボ商品開発にも注力している。
- また、2019 年には「お香リカレント学院」を設立し、お香のスペシャリスト「香師」の育成に取り組んでいる。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業を、「その他の家庭用品卸売業（国際標準産業分類：4649）」、「専門店による家庭用電気製品、家具、照明器具及びその他の家庭用品小売業（同：4759）」とする。
- 川上の事業を、「他に分類されないその他の化学製品製造業（同：2029）」とする。
- 川下の事業は、取引相手が一般個人であるためインパクトの特定は行わない。
- 以上の事業について、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト（以下 PI）」と「ネガティブインパクト（以下 NI）」を想定する。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン			川上の事業		同社の事業			
業種 (国際標準産業分類コード)			他に分類されないその他の化学製品製造業 (2029)		その他の家庭用品卸売業 (4649)		専門店による家庭用電気製品、家具、照明器具及 ひその他の家庭用品小売業 (4759)	
大分類	インパクトエリア	インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	人格と人の安全保障	紛争						
		現代の奴隷制度						
		児童労働						
		データのプライバシー						
		自然災害						
	健康と安全	健康と安全		●		●		●
	資源とサービスの入手可 能性、アクセス可能性、 手頃さ、品質	水						
		食糧						
		エネルギー						
		住居					●	
		健康と衛生			●			
		教育						
		移動手段						
		情報						
		コネクティビティ						
		文化と伝統						
		ファイナンス						
	生活	雇用	●		●		●	
		賃金	●	●●	●		●	
		社会的保護		●		●		●
	平等と正義	ジェンダー平等						
		民族/人種の平等						
		年齢差別						
		その他の社会的弱者						
社会 経済	強力な制度、平和、安定	法の支配						
		市民的自由						
	健全な経済	セクターの多様性						
		零細・中小企業の繁栄			●		●●	
	インフラ	インフラ						
自然 環境	経済収束	経済収束						
	気候の安定性	気候の安定性		●●		●		
		水域		●●		●		
		大気		●●		●		
		土壌		●●				
		生物種		●		●		
		生息地		●		●		
	サーキュラリティ	資源強度		●●				
		廃棄物		●●		●		●

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

同社の事業において発現したインパクトについて、カテゴリ毎の対応する SDGs ターゲットを整理する。なお、川上の事業に関するインパクトは、同社事業活動が与える影響が無いこと、川下の事業は、対象が一般個人となるため、インパクトの特定は行わない。

	大分類	インパクトエリア	インパクト		取組内容	対応するSDGs
			PI	NI		
同社	社会	健康と安全	健康と安全	○	働きやすい職場環境を構築するため、健康経営の取得を検討している	8.8
		資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質	健康と衛生	○	お香はストレス軽減や睡眠改善などリラクゼーション効果がある。同社は、約5,000以上のお香を取扱っており、最適なお香をご提案できる「お香コンサルジュ」を店舗に配置している	3
			文化と伝統	○	香道や仏教儀式をはじめとする伝統的な香の文化を次世代へ継承することを目的に、各種イベントの開催、コラボレーション製品の企画、「香師」資格取得に向けた講座の開講など、さまざまな取り組みを行っている	9.2
		生活	雇用	○	従業員の成長を促すため、従業員向け研修を充実させていく方針である B型就労支援事業所に一部の業務を委託しており、障がい者へ就労機会を提供している	8.5 8.8
		平等と正義	その他の社会的弱者	○	B型就労支援事業所に一部の業務を委託しており、障がい者へ就労機会を提供している	8.5
	社会経済	健全な経済	零細・中小企業の繁栄	○	歌手やキャラクターのイメージを活かしたお香を企画・制作することで、各事業者の販売促進に貢献している。	9.2
	自然環境	気候の安定性	気候の安定性	○	自社で使用する電力は全てカーボンオフ電力に切り替えるなど、カーボンニュートラルに取り組んでいる	7.3 13.2
		サーキュラリティ	資源強度	○ ○	香木の買取、数珠の再生事業を手掛けている 自然倒木した香木や、廃棄されるフルーツ・茶葉などを香原料に使用したサステナブルなお香の開発を行う予定である	12.2
			廃棄物	○	包装資材を削減した商品の開発を検討している	12.5

※同社の「文化と伝統」「社会的弱者」「資源強度」のPI、「資源強度」のNIは、同社固有のインパクトとして追加する。

※インパクトレーダーで発現したインパクトのうち、上記表に不記載のインパクトは、同社の事業と関連性が低いと判断し、評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトをE S G（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

環境に配慮した経営の推進

- 同社は、既に全事業所の電力についてカーボンフリー電力に切替済である。また、CO₂排出量の算定も行っており、今後は消費電力の削減とカーボンニュートラルの実現に取り組んでいく方針である。
- また、天然の香木は世界的に希少価値が高いため、不要となった香木の買取事業を開始し、再利用の促進に取り組んでいる。
- 今後は、自然倒木した香木や、廃棄されるフルーツ・茶葉などを香原料に使用したお香、包装資材を削減した商品の開発を検討していく。
- このインパクトは UNEP FI のインパクトリーダーでは「気候の安定性」「資源強度」「廃棄物」のカテゴリに該当し、自然環境面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 7.3：2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
 - 12.2：2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
 - 12.5：2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
 - 13.2：気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

社会（Social）

お香文化の普及

- お香は、心地よい香りによって気持ちを落ち着け、ストレスを和らげる効果が期待されている。また、睡眠前に使用することで、リラックスした環境を整え、眠りの質を高めるサポートにもなる。現代のストレス社会において、こうした香りによるセルフケアは、心身のバランスを保つための身近な方法として、多くの人々から注目を集めている。
- 同社は、約 5,000 以上のお香を取扱っており、最適なお香をご提案できる「お香コンシェルジュ」を店舗に配置し、昭和 12 年に創業して以来培った専門的知識を活かして、お香文化の普及に取り組んでいる。
- 歌手やキャラクターのイメージを活かしたお香を企画・制作することで、各事業者の販売促進に貢献している。
- 今後も、以下の取り組みを強化していくことで、お香文化の普及に取り組んでいく方針である。

【具体的な取組】

①EC 部門の売上強化

ホームページのコンテンツ（ブログ等）の充実、SNS による国内海外向け情報発信の強化

②オリジナル商品の開発／コラボレーション製品の企画

これまでも、飲み物と一緒に楽しむ「お香」や、素材本来の香りを活かした「お香」など、オリジナル商品を提供しているが、今後は「香源といえばこれ」と言われるような代表的な商品を企画していく。

③お香に関するイベントの企画

ワークショップや、様々な業界で活躍する方を招いた講演などを継続して企画していく。

- このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「健康と衛生」「文化と伝統」「零細・中小企業の繁栄」のカテゴリに該当し、社会・社会経済面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

9.2：包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030 年までに各国の状況に応じて雇用及び GDP に占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。

就労機会の提供

- 数年前より、同社は箱詰めや原料の計測などの簡易作業を、近隣の障がい者就労支援事業所に委託している。委託可能な作業は障がいの度合いにより異なるため、委託先と定期的に打ち合わせを行い、作業内容を調整している。
- 今後も、委託作業や委託先を増やし、障がい者の就労機会を提供していく方針である。
- このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「雇用」「その他の社会的弱者」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.5:若者や障がい者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する

企業統治（Governance）

安全で働きやすい職場環境の提供

- 同社は、従業員の生活面や健康面に配慮した労働環境を提供するため、健康経営優良法人の認定取得を目指している。
- また、ハラスメント研修やコンプライアンス研修などにより、従業員が安心して働ける環境を構築していく。
- このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「健康と安全」のカテゴリに該当し、社会面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.8:すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

① 国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 「3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」、「7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのあるディーセント・ワークを促進する」、「9. 強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「12、13」において大きな課題が残る、「7、8、9」において重要な課題が残るとなっており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



② 大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。

同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重点課題 （マテリアリティ）
環境に配慮した経営の推進	気候変動対応、環境保全
お香文化の普及	地域経済の持続的成長
就労機会の提供 安全で働きやすい職場環境の提供	多様な人材の活躍推進

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

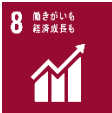
環境に配慮した経営の推進

項目	内容
インパクトの種類	自然環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「気候の安定性」「資源強度」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	・LED や省エネ設備の導入やカーボンオフセットの導入等により、消費電力量および CO₂排出量の削減を図り、環境負荷軽減を推進する ・自然由来資材やリサイクル資材を採用したお香等商品を企画・販売し、資源循環型社会の実現を図る
KPI	・年間消費電力量を 2029 年度までに 2024 年度比 20%削減する (2024 年度消費電力量 : 42,000kwh) ・2029 年度までにカーボンニュートラルを達成する (2024 年度 GHG 排出量 : 5.81t-CO₂) ・2029 年度までにお香の原料や包装材にリサイクル資材等を使用した環境配慮型商品の割合を 10%以上にする (2024 年度 : 0%)

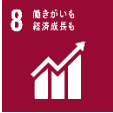
お香文化の普及

項目	内容
インパクトの種類	社会的・社会経済的側面において PI を拡大
カテゴリ	「健康と衛生」「文化と伝統」「零細・中小企業の繁栄」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・お香の取り扱いを通じて、人々の心身のバランスを整え、より豊かなライフスタイルの実現に貢献する ・EC サイトを強化し、様々な事業者の製品を若年層や海外等遠方の顧客・リピーター等に紹介する ・教育事業として、お香に関するイベントや講座、新商品の企画を積極的に続け、お香を日本文化として伝え広める
KPI	・2027 年度までに EC サイトの売上比率を、その他事業の売上高を維持向上しつつ 30%以上にし、月平均の出荷個数を 2,000 個以上にする (2024 年度 EC サイト：売上比率 21%、月平均出荷個数 1,200 個) ・2025 年度中に海外向け EC サイトを本格稼働させ、2029 年度までに海外向け EC サイトの月間売上高を 100 万円以上にする。 ・2029 年度までに教育事業の売上比率を、その他事業の売上高を維持向上しつつ 25%以上にし、年間受講者数を 3,000 人以上にする (2024 年度教育事業：売上比率 2.3%、年間受講者 960 人)

就労機会の提供

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大
カテゴリ	「雇用」「その他の社会的弱者」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・梱包や原料の計測等の簡易作業について障がい者就労支援施設への委託を進め、就労機会を創出する
KPI	・2027 年度までに障がい者就労支援施設への業務委託を 1 先以上増やし、年間委託個数を 2 倍以上にする（以降の目標は改めて設定する） (2024 年度：委託先 1 先、年間委託個数 36,000 個)

安全で働きやすい職場環境の提供

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「健康と安全」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・柔軟な有給休暇の取得や残業ゼロを目指した取組み等により、健康経営を実践していく ・ハラスメントやコンプライアンスに関する研修を実施し、不安や誤解の無い職場環境を構築していく
KPI	・2026 年度までに健康経営優良法人認定を取得し、以降継続する ・ハラスメント等に関する従業員向け研修を年 1 回以上実施する (2024 年度 : 0 回)

4. モニタリング

(1) 株式会社香源におけるインパクトの管理体制

- 同社では、菊谷社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定ならびに KPI の策定を行った。
- 今後については、本件にかかる責任者を菊谷社長とし、SDGs の推進、ならびに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通して実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳および翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。